

## 小中一貫教育の検討大事



「子どもたちにとって一番良い方法を」と思いを伝えるおとうさん方

▼小中一貫教育について検討することが大事でないか▼  
 統合をするとき（全村1校）場所はどこなのか。既存の校舎を利用するのか 教育長Ⅱ  
 場所などはまだ検討していない段階。今後校舎利用を含めて検討していく▼財政が厳しいとき、統合するには（全村1校）堀内小学校が一番妥当である▼再編検討委員会のメンバーの公表、アンケート結果の自由意見の欄の内容公開を▼アンケートでは統合年度が19年度、そして20年度がパーセントが多かった。それなのに（中間報告が）19年度そして21年度としたのはなぜか

要との考えに立っている▼統合先の場所や学校のアンケートもとつたらよいのでは▼統合に当たって、スクールバスの運行をうまくやっつてほしい。負担のかからない方向で▼統合した後の空き校舎の活用を検討してほしい 村長Ⅱ  
 有効な活用方法を皆さんと共に考えて行きたい▼統合を考えたとき、子どもたちにとって一番よい方法を、地域の工ゴでなく考えて進めるべき▼子どもたちが統合されやすい状況をつくってほしい。運動会や遠足などを一緒にとか▼普代児童館への統合のとき、子どもたちの気持ちとは関係なく決めた経緯がある。今回の統合には子どもたちも理解できるように説明をして進めてほしい▼21年度の統合は間に合うのか。場所はいつごろ決まるのか 教育長Ⅱ  
 統合は間に合うよう努力する。場所については、これから検討することとなる



普代会場で「子どもたちに希望を持たせる方向を最優先したい」と話す熊坂教育長

## 子どもたちの心のケアを



校舎の規模などの質問が出されました

▼統合のためにはいろいろなことに取り組んでいかなければならないと思うが、子どもたちの心のケアをしつかりやらなければならない。考えを伺いたい 教育長Ⅱ各地区の説明会でこのことは出てきた。新しい環境でバリアが少ないように、子どもたちに希望を持たせる方向で最優先してプログラムを考えていきたい▼交流学習を組むなど、子どもたちを温かく迎え入れてやりたい▼普代小の保護者は、実際統合になるとの実感を持っていない。実際現段階で4校を1校とし普代小に統合としたとき、校舎の規模な

ど大丈夫か。校庭は拡張してもらえるか 助役Ⅱ普代小の校舎は対応できる規模であるが、今後場所のことなどいろいろな議論、検討の中でより良い学校環境を整備していきたい▼学校の場所などを考えると21年度の全村1校統合までの2年は長くはない。十分検討し最良の方向を見出してほしい

住民説明会では、最終統合校の場所や子どものケアの問題、スクールバスの運行、空き校舎の活用などの意見が出され、さまざまな課題が浮き彫りになりました。

今後は村全体として、子どもたちをどうはぐくんでいくのがベストなのか考えなければなりません。とても難しい問題ですが、行政、地域、学校が一体となって普代村全体として、わたしたち大人が子どもたちを、どう輝かせてあげられるのか、考えることが大切ではないでしょうか。